

松本市の個人収入が一番低い(県下 19 市中)。

松本市の一番が一つ増えた

松本市の一番には「国保税、介護保険料が 19 市中一番高い等」があるが、又、一番が一つ増えた。偶然か山雅が参加してから減収の一途である(数値は松本山雅の記事の巻末参照)。

(山崎の記事を読んで)市民の中に「松本市職員が山雅の営業までしているのか」と怒った人もいた。その方々の依頼で山崎は令和 1 年 12 月「山雅の経済波及効果」の調査結果を松本市に求めた。

松本市は「山雅の経済波及効果の調査はしていない」と答えた。「山雅の経済効果は凄い」と言う人がいるが調査していないので不明である。

🌸 山崎は「市民一人当たりの収入」を調査してみる事にした。山崎は「山雅は元気なので良い結果が出る」と睨んだ。しかし、山雅が J リーグで戦うようになった平成 24 年から松本市の一人当たりの個人収入は県内 19 市の中で最も低い市となっていた(本文 31p 参照/下図参照)。それどころか年々減少していた。

この結果を一概に「山雅と結びつけることは出来ない」が松本市は早急に「なぜ、県下一、個人収入が低くなったのか」調べる必要がある。又、松本山雅の経済波及効果も市民が納得いく形で明らかにする必要がある。🌸事実と思込みとは大きく異なるからである(政治学著書より引用)。

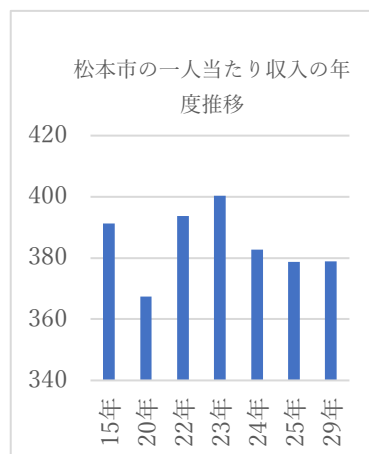
🌸 ところでプロサッカーをマイナスに捉える考え方もある。

先日全国各地をまわり様々な取材をしている旅人が私の民泊に泊まった。私が「松本市民は山雅で元気が良いのに、なぜ、長野県下で一番、個人収入が低くなっているのか。それも山雅がきてからである」とつぶやいた。

すると彼は「見るプロスポーツは良くないですよ」と言った。

私は「なぜ」と聞いた。

彼は「見るスポーツは 3S 政策の一つです。市民を市民生活の問題点から目をそらせるための政策なのです」といった。私はネットで 3S 政策を調べた。



低い方からの順序		
H15	9 番	有賀市政
H17	11 番	
H20	3 番	菅谷市政
H22	4 番	菅谷
H23	5 番	菅谷
J リーグ参加		
H24	1 番	菅谷
H25	1 番	菅谷
H27 市議会選挙		
H29	1 番	菅谷

次のように記されていた。

3S 政策とは、Screen（映画鑑賞）、Sport（プロスポーツ観戦）、Sex（セックス＝性産業）を用いて大衆の関心を政治に向けさせないようにする**愚民政策**である。

ここでいうスポーツはスポーツをする事ではない。スポーツをみて応援する事を指す。ほとんど運動をしない為どんどん筋肉はおとろえ、デブが増殖していく仕組みである」。

ご参考に。

前頁右図:松本市は 24 年から毎年下がっている。前頁左図:長野市は毎年上がっている。松本市とは対照的である。右表:松本市の個人収入の順序。低い方からなので1番は最も悪い値。2.2.3

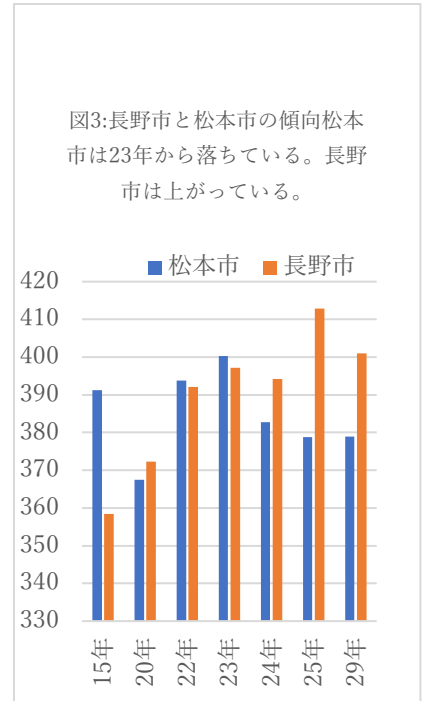


図3:長野市と松本市の傾向松本市は23年から落ちている。長野市は上がっている。

トピックNo.2

松本市の行政の**驚くべき実態を本にしました。**

「市議会議員が語るパート 2(23-27 年)

そして、その後」を出版

私は調査しながら発言していた。現市長とは 8 年共にいた。

当初、市長は健康を柱とした。9 年目に良き結果が出ていると思ひ調査す

ると、国保税、介護保険料は県下一高く、平均寿命も健康寿命は県下一低くなっていた。一般会計に占める介護医療の割合も県下一悪く

松本市議会議員を2期務めた民泊業の山崎 たつえさん(79)は、安曇野市穂高有明は、このほど、市議2期目に出していた「議員日記」などをまとめた冊子「市議会議員は見たパート2」そして、その後」を発行した写真。

菅谷昭市長が進める「健康寿命延伸」の関

議員時代の記録 冊子に

元松本市議 山崎 たつえさん 作製

松本市議会議員を2期務めた民泊業の山崎 たつえさん(79)は、安曇野市穂高有明は、このほど、市議2期目に出していた「議員日記」などをまとめた冊子「市議会議員は見たパート2」そして、その後」を発行した写真。

菅谷昭市長が進める「健康寿命延伸」の関

【松本市民タイムス令和1年12月21日号に掲載された記事】

このほか、環境行政や、市とサッカー松本山雅FCとの関係など、議会活動で発言してきた内容をまとめています。100部作製し、1部10000円で頒布している。問い合わせは山崎さん(☎090・9666・9113)へ。

(赤羽洋輔)

2013年21(エ) 市民タイムス

さんは「中身に乏しく『健康寿命延伸』と言っているだけで結果が見えない」と主張している。

なっていた。指摘しても改善をしようとしなかった。

最近、経済状況を調べた。個人収入が県下一、低くなっていた。

しかし、菅谷氏は以上の事実を市民に話さない。「松本市の健康も経済も、いかにも良い」様な話を市民に語っている。市民は真実を知らないなので改善に努力できない。その為更に悪くなっている。

市民の皆さま、松本市の真実の姿を知り良い松本市をつくりましょう。この本により松本市の真実を知る事が出来るでしょう。

一本を希望の方は下記へ

「市議会議員は見たパート 2^(23-27年)そして、その後」

申込先 山崎たつえ 090-9666-9113 fax 75-0557 まで送料込み 500 円

著書「市議会議員は見たパート 2」の本の目次

1章	松本市民の健康づくりが危ない	1P
2章	山崎たつえのメタボ・高血圧を撃退--「運動と食生活」に挑む	18P
3章	まさか! 松本市長が不正許可交付とは(23.9)	22P
4章	松本市は松本山雅を「丸抱え」――市長選挙と市議会議員選挙	24p
5章	市役所現地再建と松本城(調査依頼)	33p
6章	松本市の教育――市職員の女性の地位・生活保護者の教育・新県立大学	35p
7章	熊と観光「あきれた市議会答弁」――高山市の実施している事を議会で答弁	40p
8章	地元島内の環境を守る為――リサイクル施設増設阻止と塩尻ゴミ搬入	42p
9章	其の他の議会発言	49p
10章	私の歩んだ道とこれからの夢	56p
11章	菅谷昭市長の原発避難者支援の実態 市長の大嘘発覚	59p
	1部 菅谷昭市長の言う「市長権限(市税)」での支援ではなく「国から多額な支援金が来ていた」。だが用途先が不明。	
	2部「恐ろしい」と思った。菅谷昭市政と松本市議会	
	トピックス 日経グローバル奮闘地方議員山崎たつえ	71p
	あとがき	